株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告掲載新聞名	日本経済新聞

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

HPのご案内

当社ホームページでは企業情報や財務情報をはじめとした最新情報がご覧いただけます。

http://www.muraki.co.jp/

VEGETABLE OIL INK

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

MURAKI

Interim Business Report 2014

第56期 中間株主通信

平成25年4月1日～平成25年9月30日

ムラキ株式会社

証券コード：7477

企業理念

ムラキは「人が好き、車が好き」
「ヒューマンカーライフの創造を通じ社会に貢献する」
ことを念じています。

経営ビジョン

「既存の商品、従来の販売領域を超えた、
新ビジネスに挑戦します」

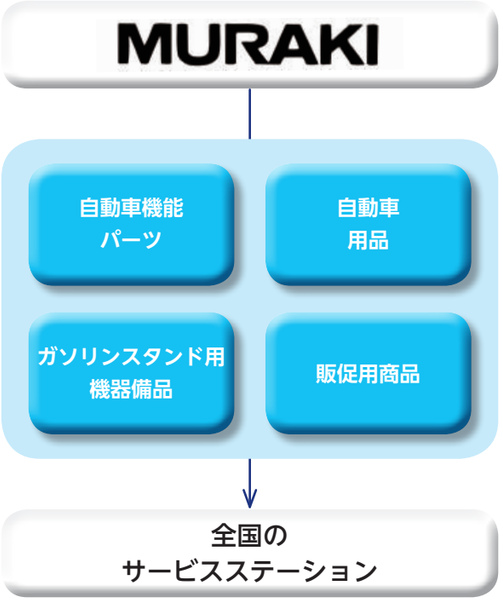
経営指針

ステークホルダーへの公約（経営姿勢）

顧　　客	安心・信頼感、価値ある商品、商品情報、サービスの提供
エンドユーザー	お客様の安全・快適・経済性の追求
パートナー	相互の情報交換と明確な機能分担による相乗効果の追求と、市場拡大による真のベストパートナーとしての共存共栄
社　　員	能力開発機会の提供、利益の共有
社　　会	環境対策配慮とコンプライアンスの徹底
株　　主	利益改善、事業領域拡大による公開企業としての責務完遂

サービスステーションのサポートで、ニッポンの自動車業界を元気にする

自動車機能パーツ、自動車用品、ガソリンスタンド（サービスステーション略称SS）用機器備品、販促用商品などを主にSSに販売し、通販事業も手がける総合商社です。



「トータルカーライフサポートビジネス」で通期での増収増益を目指してまいります

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第56期中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）を終了致しましたので、ここに事業の概要をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長
古屋　文男

今後の見通し（連結）

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	当期純利益（百万円）	1株当たり配当金（円）
第２四半期業績（平成26年3月期）	4,387	42	71	43	1
通期予想（平成26年3月期）	9,289	90	140	100	2
前期業績（平成25年3月期）	8,909	52	104	65	2

TO OUR SHAREHOLDERS ［株主の皆様へ］

Q 部品事業について、これまでの成果を教えてください。

部品事業はおかげさまで順調に推移し、前年を上回る実績をあげることができました。更にこの基盤的事業を確固たるものにすべく部品事業の包括的供給を目指し純正外車パーツに本格参入を始めます。増え続ける外車比率に対し、SSで敬遠されがちであった外車パーツに照準をあてることでSSに新たなサービスを提供するとともに、全国の外車オーナーがSSを通じて迅速・安全・確実な部品供給を受けうるという全く新たなシステムが完成します。「東京から全国へ」をキャッチワードに世界の40銘柄以上の純正外車パーツの供給が可能となります。この新境地は地道に推し進めてきた業務提携先部品販売会社との強力なタイアップから生まれたもので、従来の国産パーツとの相乗効果も期待できるものであります。

Q 通期（平成26年3月期）の見通しについてお聞かせください。

今回の中間配当につきましては、減収減益という業績を踏まえながらも、通期における回復見通しと配当余力を勘案し、予定通り1株当り1円とさせていただきました。引き続き業績の向上に努め、株主の皆様への更なる還元を目指しております。

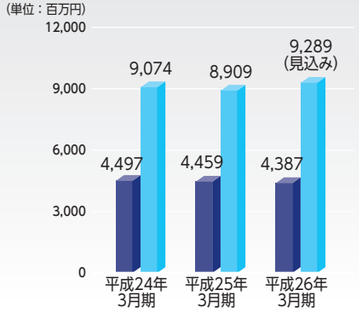
Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先でありますSS業界においては、ガソリン価格の高騰によるユーザーの買い控え現象と来店頻度の減少が販売機会に影響しましたが、下期対策としてのハイスペックオイルエレメント、ハイブリッド車専用バッテリー、更には車検特化モデル店から得られたノウハウを反映させた車検告知アイテムのセット販売等、SSにとっては新たなカテゴリーとなる部品の提供により、売上高の構築を図ってまいります。

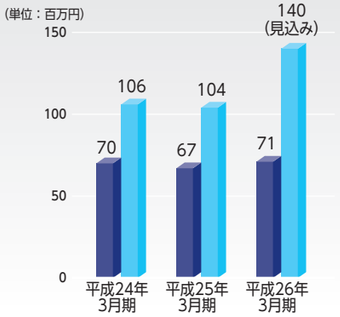
株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

FINANCIAL HIGHLIGHT ［財務ハイライト］

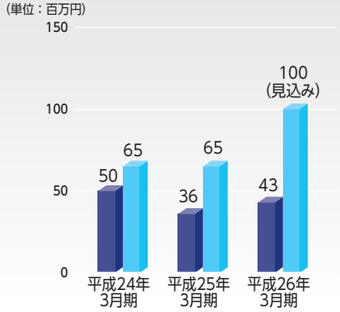
■ 売上高



■ 経常利益



■ 当期（中間）純利益



TOPICS ［トピックス］

「地域大手部品卸」13社と業務提携（平成25年9月末日現在）

車検獲得パッケージプランの販売を展開

3つのプラン

『メディカル車検プラン』

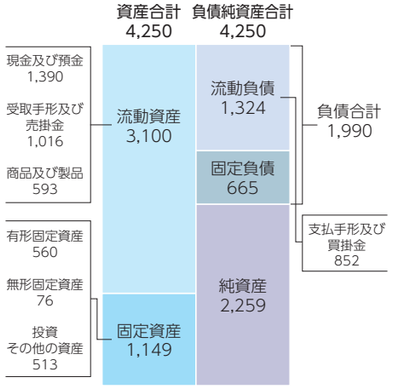
『THE車検プラン』

『俺の車検プラン』

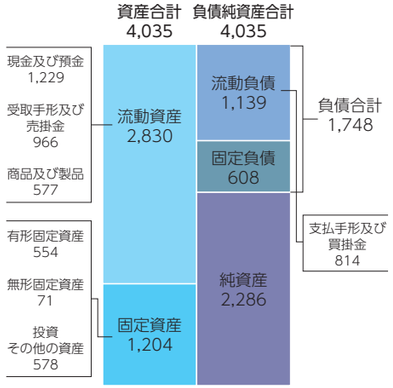
純正外車パーツ販売に本格参入

世界の40銘柄以上の純正外車パーツを迅速に供給

■ 連結貸借対照表の概要 （単位：百万円）



前期末
平成24年3月31日現在

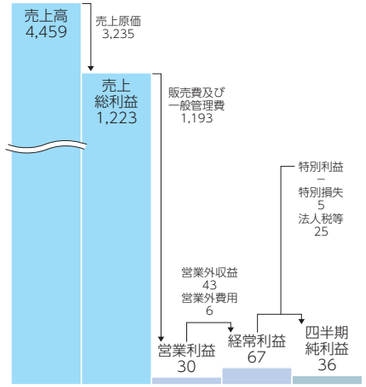


当第2四半期末
平成25年9月30日現在

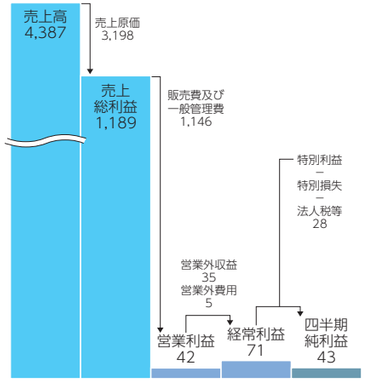
■資産
現金及び預金が減少した一方、投資その他の資産は増加しました。
■負債
支払手形及び買掛金が減少したことにより減少しました。
■純資産
配当金に支払いを実施した一方で、四半期純利益を計上したことにより増加しました。

また、当社グループの自己資本比率は56.7%であり、財務の健全性は確保していると考えております。

■ 連結損益計算書の概要 （単位：百万円）



前第2四半期
平成24年4月1日から平成24年9月30日まで



当第2四半期
平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

■売上高
ガソリン価格高騰による買え控え現象と来店頻度の減少により売上高4,387百万円（前年同期比1.6%減）となりました。
■売上総利益
部品事業が順調に推移し前年を上回る実績をあげられたことにより1,189百万円になりました。
■販売費及び一般管理費
人件費及びその他の経費等の更なるコスト削減を行い1,146百万円となりました。

会社概要

商　　号	ムラキ株式会社
英 訳 名	MURAKI CORPORATION
本店所在地	〒206-0011 東京都多摩市関戸2-24-27 三ツ木聖蹟桜ヶ丘ビル　5F TEL 042-357-5600 FAX 042-357-5606
創　　業	昭和21年2月1日
設　　立	昭和32年11月15日
資 本 金	19億1,070万円 （平成25年9月期）
従業員数	263名

ネットワーク

北海道支店

東北支店
青森営業所
八戸出張所
盛岡営業所
仙台営業所
山形出張所
郡山営業所

北関東支店
水戸営業所
土浦営業所
宇都宮営業所
高崎営業所
新潟営業所

首都圏支店
川口営業所
川越営業所
千葉営業所
市原営業所
松戸営業所
東京営業所
西東京営業所

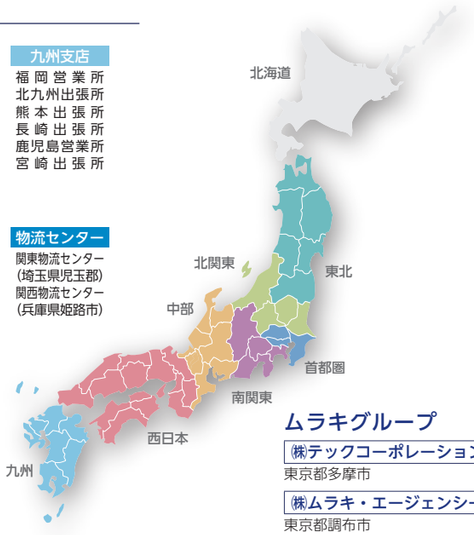
南関東支店
横浜営業所
小田原営業所
静岡営業所
沼津出張所
浜松営業所
甲府営業所

中部支店
名古屋営業所
小牧出張所
津営業所
富山営業所
金沢営業所

西日本支店
大阪営業所
京都出張所
姫路出張所
広島営業所
岡山出張所
高松営業所
徳島出張所
松山出張所

九州支店
福岡営業所
北九州出張所
熊本出張所
長崎出張所
鹿児島営業所
宮崎出張所

物流センター
関東物流センター
（埼玉県児玉郡）
関西物流センター
（兵庫県姫路市）



ムラキグループ
㈱テックコーポレーション
東京都多摩市
㈱ムラキ・エージェンシー
東京都調布市

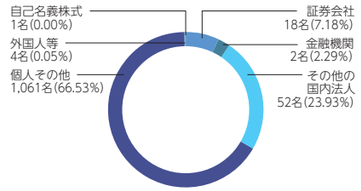
役　員

取締役会長	田中舘　喬
代表取締役社長	古屋　文男
常務取締役営業本部長	永井　清美
取締役管理本部長	関　冨直彦
常勤監査役	吉田　誠
監査役	加藤　全彦
監査役	川口　幸信
執行役員業務統括部長	野口　顕一
執行役員経理部長	上中　良典
執行役員総務人事部長	大矢　敏之
執行役員商品部長	柳田　任俊

大株主

株主名	当社への出資状況 持株数
有限会社ドリーム・ワークス	2,550 千株
芝川　洋	2,500
村木　ミチ	1,123
エイケン工業株式会社	460
松井証券株式会社	419
ムラキ社員持株会	399
株式会社SBI証券	390
日本証券金融株式会社	336
宮本　暁美	300
林　和男	179

株式の状況

発行可能株式総数…… 50,000,000株
発行済株式総数…… 14,700,000株
株主数…… 1,138名（前期末比126名増）

所有者別株式分布状況